

「千葉市新基本計画政策評価(中間評価)原案について(答申)(令和2年3月18日)」
 における政策評価制度に関する意見への対応

1 市民アンケート

【意見】生活実感指標である市民アンケートについて、計画の施策体系との対応関係の向上、回答のしやすさの向上を図ること。

【対応】市民アンケートにおける設問を見直す(生活実感指標の追加)とともに選択肢を改善した。

《主な改善点》

生活実感指標を設定していなかった施策の柱に対応する設問を追加

施策の柱		アンケート	
No.	名称	テーマ	名称
1-3	環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る	3	環境への配慮について
2-1	健康で活力に満ちた社会を創る	7	市民が健康に暮らせる環境について
3-4	多彩な交流・連携により新たな価値を創る	11	外国人と日本人がともに暮らしやすい環境について
4-1	市民の安全・安心を守る	15	災害をはじめとしたリスクへの備えについて
5-1	地域経済を活性化する	19	地域の経済について

※下記の2つの施策の柱については、単独でのテーマ設定が困難であるため、既存の設問をもとに分析・考察を行った。

①施策の柱 2-3 「ともに支えあう地域福祉社会を創る」

⇒テーマ 20 「地域や社会に役立つ活動について」

②施策の柱 4-2 「快適な暮らしの基盤をつくる」

⇒テーマ 15 「災害をはじめとしたリスクへの備えについて」

テーマ 17 「道路の移動のしやすさについて」

2 客観指標の見直し

○「No26 入院が必要な患者の積極的な受入れ」

【意見】市立病院の使命を踏まえ、市民に必要とされる医療を継続的に提供する観点からより適切な指標を設定すること。

【対応】本指標は入院患者を増やすことを目標としているものではなく、入院を必要とする患者を市立病院において積極的に受け入れるという趣旨である。市立病院として市民が必要とする安全安心な医療を提供し、住民の福祉の向上を目的とし、引き続き、「両市立病院の新規入院患者数」を指標とする。

- 「No51 全国学力学習状況調査結果における全国平均正答率の比較」
【意見】分析を科目ごとに行うこととなるため、目標値についても科目ごとに設定すること。
【対応】審議会意見のとおり変更する。

- 「No83 駅や公共施設等を結ぶ道路等の無電柱化率」
【意見】「千葉市無電柱化推進計画」を踏まえ、目標値を設定すること。
【対応】審議会意見のとおり、無電柱化推進計画を踏まえ、指標を「高速道路等の IC から防災拠点への無電柱化された路線での接続率」へ変更し、本計画に基づく目標値を設定する。

- 「No90 交通事故死傷者数」
【意見】増減率により測定することも含め、設定を検討すること。
【対応】死傷者全体の規模感を把握するとともに、交通安全の対策としては、死傷者の増減数や増減率を指標とするのではなく、年間の数の多さを市民に知ってもらい交通安全に努めるという意識をもってもらうことが重要と考えるため、引き続き、「交通事故死傷者数」を指標とする。